

＝ 麓南の峰連間浅 ＝ 里のまりだ陽

令和7年
(2025)

東北信地方唯一の伝承地芝居

祢津東町歌舞伎公演

演目

子ども歌舞伎

白狼五人男

祢津東町歌舞伎保存会

鎌倉三代記

— 縮山村閑居の場 —

日時

四月二十九日(火)

小雨決行(昭和の日)

場所

祢津日吉神社境内

東町歌舞伎舞台

(文化十四年建築)



(鎌倉三代記)

日程

開場 午前10時 (入場無料)

◆三番叟 10:30

◆白狼五人男 11:00

(祢津小学校子ども歌舞伎クラブ)

◇開会式

◇いのちのひととき ~心にのこる名曲をBGMで~

◆鎌倉三代記 13:00

— 縮山村閑居の場 — (祢津東町歌舞伎保存会)

閉場 午後2時30分 (予定)

【交通案内】 上信越自動車道、東部湯の丸I.Cより5分

主催：祢津東町区
祢津東町歌舞伎保存会
後援：東御市
東御市教育委員会
東御市文化協会
祢津地域づくりの会

❖ごあいさつ❖

本年、上演いたします演目は、久々に舞台回しが二回伴う演目です。スピーディーな舞台展開にご期待ください。

コロナ禍以降、歌舞伎公演を再開いたしました。三年目の本年、安全・安心な会場設営のもと、歴史ある祇津東町歌舞伎が開催出来ますことは継続の重要性からこの上ない喜びです。主催側としまして、ご支援・ご協力を頂きました市当局をはじめ関係各位に心より厚く感謝と御礼を申し上げます。

この先も私も東町区民一同、新たな時代に向かって、先人たちの残した郷土の宝である貴重な伝統文化の継承発展に努めて参る所存であります。今後ともより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。八重桜に加えて新緑まばゆい野天の棧敷席でごゆっくりとご鑑賞下さいますようお願いを申し上げます。

祇津東町区長 坂口 明
 祇津東町歌舞伎保存会長 金井 勝

三番叟 松村 悠輔

祇津小学校子ども歌舞伎クラブ

しらなみ 白狼五人男

【第一幕 浜松屋店先の場】
 【第二幕 稲瀬川勢揃いの場】

(あらすじ)

舞台は今から八〇〇年くらい前の鎌倉時代。五人の盗賊がおりました。

おふんは日本駄右衛門、子分に弁天小僧菊之助、南郷力丸、赤星十三郎、忠信利平。彼らを人は「白狼五人男」と呼びました。

【第一幕 浜松屋店先の場】

弁天小僧菊之助は武士の娘に女装し、南郷力丸はそのお供に化けて、呉服屋「浜松屋」にやってきました。弁天がわざと万引きしたと見せかけると、店の者が弁天を疑い、そろばんを討ちつけ、弁天の額に傷をつけます。二人は店の主人や息子に「治療のための金を払え」と強くせまります。そこへ玉島逸当と名乗る侍が現れ、二人の正体を見破り、浜松屋に金を取り戻してやります。

しかし、この侍の正体は盗賊の親分の日本駄右衛門



で、弁天小僧菊之助、南郷力丸が有名な盗賊だと分かれ、怖がらせて、これからも大金を奪うための作戦だったのです。

第一幕の「見どころ」は、弁天小僧が美しい武士の娘から、片肌を脱いで盗人の正体を見せる場面、仕草と七五調の台詞に注目。

【第二幕 稲瀬川勢揃いの場】

稲瀬川に追いつめられた五人男は勢揃いして、それぞれの正体や生い立ちを名乗り合います。第二幕の「見どころ」は、あてやかな衣装と七五調の台詞回し、傘を使って見栄を切る場面に注目。

【配役】

- 玉島逸当 実は 日本駄右衛門 (一幕)..... 塚原明香里 (中二)
- 日本駄右衛門 (二幕)..... 岡崎 権 (中二)
- 早瀬主水の息女 実は 弁天小僧菊之助 (一幕)..... 柳沢 彩音 (中二)
- 弁天小僧菊之助 (二幕)..... 塩川 玲生 (中二)
- 四十八 実は 南郷力丸 (一幕)..... 桜井 美陽 (中二)
- 南郷力丸 (二幕)..... 佐野 綸那 (中二)



赤星十三郎	齊藤 結人と	(中二)
忠信利平	横山 太一	(中二)
浜松屋 幸兵衛	小林 明来	(中二)
浜松屋の倅宗之助	峯村 梨音	(中二)
番頭 与九郎	伊藤 灯彩	(中二)
蔦頭 清次	櫻井 結斗	(中二)
蔦頭の子分 太助、捕手③	神津ひまり	(小六)
蔦頭の子分 五助、捕手④	眞田純之介	(小六)
手代	小林 岳	(小六)
小僧①	北澤 星那	(小六)
小僧②	鈴木 美讚	(小六)
捕手①	酒井 彰梧	(小六)
捕手②	飯高 陸翔	(小五)

鎌倉三代記
 糸津東町歌舞伎保存会
 一 絹山村閑居の場 一

(あらすじ)

京方と鎌倉方の争いの最中。京方の三浦之介が、母長戸の病を案じて、重傷の身も顧みず戦場から自宅に帰ってきます。迎えたのは鎌倉方の大将、北条時政の娘で三浦之介を慕う時姫。美しい振袖の姫の姿で長戸の世話を甲斐甲斐しく努めています。「親に背いて焦がれた殿御」に夫婦の契りをしてと縋りつきますが、敵方の娘は妻に出来ぬと三浦之介に撥ねつけられます。

嘆いた時姫は自害しようとする、鎌倉方の足軽、藤三郎が現れました。藤三郎は、姫を助けたら女房にしてやると時政の命を受けてきたと時姫に言い寄

ります。怒った時姫が斬りかかると、藤三郎は庭先の空井戸に逃げ込んでしましました。

再び自害しようとする時姫を三浦之介が留め、父時政を討てば妻にする、難題を持ちかけます。恋しい人の願いは、実の父を殺すことでした。大変悩んだ末に時姫は、ついに三浦之介の難題を承知しました。親よりも恋を選んだ姫君でした。

父を殺そうという時姫の決心を聞いた三浦之介が、計略が成功したと空井戸に呼びかけました。思いがけないことに、井戸から現れたのは藤三郎ならぬ佐々木高綱でした。

実は高綱は、自分とウリ二つの百姓藤三郎の命を買い取って、その首を身代わりにしていたのです。そして自身は藤三郎本人であると思わせ、その証拠として、時政から顔に入れ墨をされて放たれていたのです。

【配役】

- 佐々木高綱.....岩井 純
- 三浦之介義村.....柳沢 俊幸
- 北条の息女時姫.....鈴木 絵美
- 富田六郎.....飯高 昭男
- 藤三郎.....小林 常夫
- 藤三郎の女房おくる.....米澤 暢夫
- 三浦之介の母長戸.....丸山 美讚
- 讃岐の局.....鈴木 美讚
- 阿波の局.....岩井 樹
- 義太夫.....坂口 文則
- 三味線.....鶴澤 弥吉
- 義太夫指導.....鶴澤 蟻鏡
- 振付指導.....益子 輝之
- 指導・協力.....市川鏡十郎社中
- 後見・裏方.....東町歌舞伎保存会の皆様



